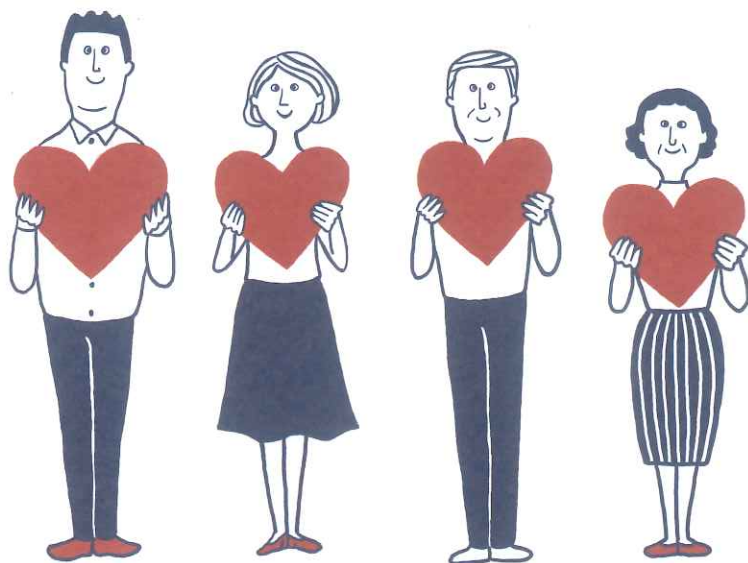




心不全リスクは、
心配するより
血液検査で知っておこう。

(利尿ペプチドホルモン)

【監修】

静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター長 島田 俊夫 先生

生命に危険を及ぼす心不全のこと、 もっとよく知っておきましょう。

心不全はよく聞く病態ですが、正しく理解できていない方が多いと思います。

心不全は心臓のポンプ機能の低下により生じた循環不全状態を指します。

息切れ、むくみを生じながら悪くなり、生命に危険を及ぼす病態だと
理解してください。その原因は一つではなく、心筋梗塞や弁膜症などの

心臓病はもちろん、高血圧を長年放置していたような場合にも本人が
気づかないうちに心臓のポンプ機能が低下し、心不全を生じることがあります。

下記の心不全初期症状に思い当たる方は、注意してください。

心臓機能の低下のためにカラダが必要とする酸素を十分に供給できなくなることで生じる症状と、この状態を改善しようとするが依然として酸素供給が不十分のために、レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の活性化

改善するために心臓は交感神経活性を高め低下したポンプ機能をも加わり循環血液量が増加し、体重増加、肺うっ血と浮腫が生じます。

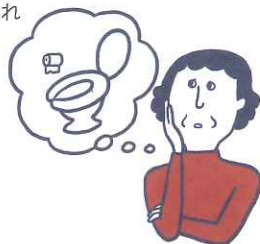


息切れ

坂道・階段での息切れ



手足が冷たい



尿量・回数の減少



カラダがだるい

全身倦怠感



急に体重が増える

2~3kg 以上の増加



食欲不振



むくみがある



夜間の尿量の増加



夜横になると息が苦しい

心不全は、人ごとではない。
そんなデータがここにあります。

我が国の
心疾患患者数^{※1}

317万人

1年以内の
心不全再入院率^{※2}

35%

全死因における
心疾患による死亡率^{※3}

14.8%

心不全患者の
5年間の死亡率^{※4}

50%

一度心不全になると、生命に危険を及ぼすだけでなく、入院・退院を繰り返すことも特徴です。
初期症状がある方や、40歳以上の方は心臓の検査をお勧めします。

※1 平成29年度厚生労働省調査 ※2 JCARE-CARDデータ ※3 令和4年度厚生労働省人口動態調査 ※4 日本循環器学会「心不全の定義」

症状のある方、不安のある方はできるだけ早く医療機関で検査を受けましょう。

心不全や脳梗塞のリスクを測る、 NT-proBNP検査って何でしょう。

Q1 NT-proBNPとは何ですか？

- A. NT-proBNPとは、心臓の苦しみを軽減するために心臓から分泌される、BNPという利尿ペプチドホルモンが活性化される過程で生じるホルモン作用のない物質です。負荷が多いほどホルモンであるBNPは多く分泌され、NT-proBNPの数値も高くなります。



Q2 NT-proBNPの検査方法？

- A. NT-proBNPの検査方法は静脈採血するだけの簡単な検査です。



Q3 NT-proBNP 検査だけで心臓病が全てわかりますか？

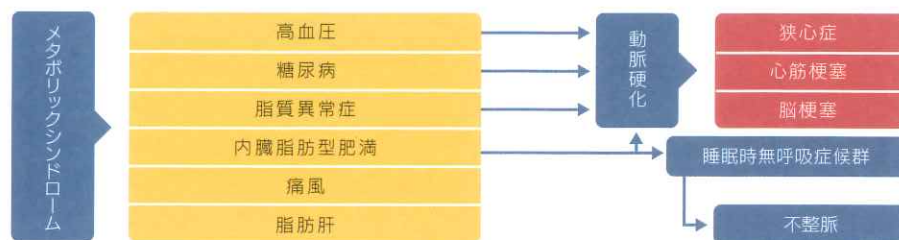
- A. NT-proBNP測定は心臓の苦しみの程度を大まかに知ることができる便利な検査ですが、基礎疾患（原因となる疾患）の診断は診察、問診はもちろん、他の血液検査、心電図検査、CT、MRI、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、運動負荷検査、核医学検査などを総合的に判断して決定します。

総合判断 = NT-proBNP 検査 + その他の検査

総合判断が必要！

NT-proBNP値が高い原因の一つに、 生活習慣病が関わっていることもあります。

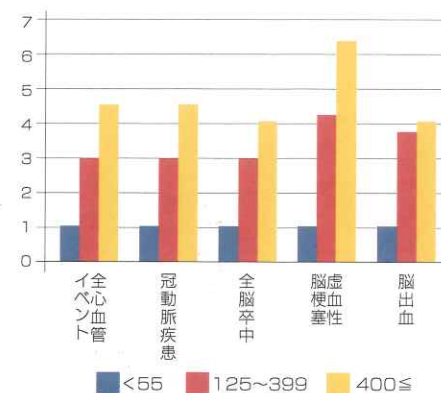
代表的な生活習慣病である高血圧、糖尿病は日々心臓・血管に過剰なストレスをかけるため、心臓が悲鳴を上げ始めるとNT-proBNP値は上昇します。しかし生活習慣病は自覚症状が乏しいため、NT-proBNP検査で心不全の重症度を知っておくことは、リスク回避のためにも大切です。



NT-proBNP値が高いほど、 将来の疾患発症リスクが高いと予測されます。

福岡県久山町の研究でNT-proBNPを測定し、5年後に何の病気で死亡したのかを調べた研究があります。

NT-proBNPが400pg/mL以上の人は、55pg/mL以下の人と比べ、心臓病と脳出血、脳梗塞などになる危険率が4~6倍に増えます。NT-proBNP値が高いほど脳梗塞や心疾患などの発症リスクが増えるため、早期に生活改善、検査、治療することが発症予防に役立つと期待されます。



引用: Doi Y et al, ATVB, 31: 2997-3003, 2011より引用改変

NT-proBNP 測定値の判断基準値

心臓は24時間、365日休まず動き続ける、あなたのカラダの酸素供給のためのエンジンです。
NT-proBNP検査と下記の判断基準を参考に、しっかり心臓の健康管理をしていきましょう。

正常の方

(NT-proBNP値:125未満)

*ただし55pg/mL以上の場合、生活習慣病の注意が必要です。

継続して健康維持が大切です。

定期的にNT-proBNP検査を行うことをお勧めします。



中～高リスクの方

(NT-proBNP値:300以上)

総合病院や専門病院で、

精密検査を行うことをお勧めします。



- 心電図検査
- MRI
- 心エコー
- 核医学検査
- 心臓CT
- 心臓カテーテル検査

心エコー



NT-proBNP値と心不全重症度

正常	軽リスク	中リスク-1 (要精査)	中リスク-2 (要精査)	高リスク-1 (要精査・治療)	高リスク-2 (要精査・治療)
NT-proBNP値 ▲55pg/mL	▲125pg/mL	▲300pg/mL	▲900pg/mL	▲4,000pg/mL	▲8,000pg/mL
55pg/mL以上	125pg/mL以上	300pg/mL以上	900pg/mL以上	4,000pg/mL以上	8,000pg/mL以上
心疾患の 疑いなし	心負荷あり (生活習慣病の注意 が必要です)	前心不全または 心不全の可能性があり ます	専門医を受診 (精密検査を勧めます)	専門医を受診 (精密検査および治療が 必要です)	

軽リスクの方 (NT-proBNP値:125～300)

<基礎疾患が明らかでない方>

食生活の改善、運動、禁煙をお勧めします。

また、飲酒量も適量の範囲で楽しめる

程度にしましょう。

(注)運動は散歩から開始してください。激しい運動は避けましょう。



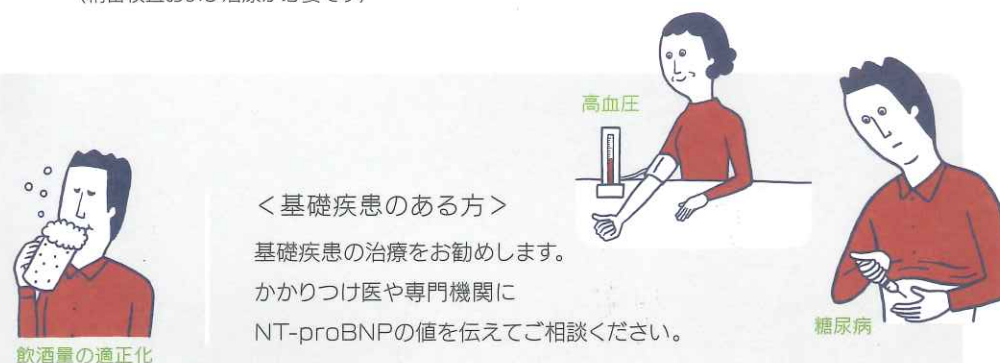
<基礎疾患のある方>

基礎疾患の治療をお勧めします。

かかりつけ医や専門機関に

NT-proBNPの値を伝えてご相談ください。

受診した健診施設やかかりつけ医に相談の上、精密検査を行うことをお勧めします。





☒ 心臓セルフチェック

あなたは、いくつ当てはまりますか？

- ☐ 坂道、階段で息切れするようになった
- ☐ 尿の量、回数が減ってきた
- ☐ 手足が冷たい
- ☐ カラダがだるい(全身に倦怠感がある)
- ☐ 急に体重が増えた
- ☐ 夜トイレに2回以上起きる
- ☐ 夜横になると息苦しい
- ☐ 下肢のむくみがある

思い当たる項目がある方は、
早い時期にNT-proBNPで
心臓のチェックをお勧めします！

あなたのNT-proBNP測定値は

(pg/mL)